
平成24年度 山口県介護保険研究大会 開催要項

— 職種間連携による地域での支えあいシステムの構築をめざして —

1 趣 旨

今年4月に改正された介護保険法により、高齢者が認知症や要介護状態になっても住み慣れた地域で住みつづけられるようにするため、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムを実現し、関係機関の連携により包括的・継続的に提供していくことがサービス提供事業者に求められている。

今回の制度改正を通して、本制度がさらに利用者にとってよりよいものとなるために、医療・保健・福祉のサービス提供事業者をはじめ、行政（県・市町）、地域住民が職種間の連携・協働をすすめ、それぞれの地域にあったサービスを構築し、発信していくことがますます必要となっている。

そこで、医療・保健・福祉のサービス事業者等が一堂に会し、13年目を迎える制度がより良いものとなるため、さらには介護サービスの更なる質の向上に向け研究協議するため「平成24年度 山口県介護保険研究大会」を開催する。

2 主 催

山口県介護保険関係団体連絡協議会

山口県医師会、山口県歯科医師会、山口県薬剤師会、山口県看護協会、山口県栄養士会、山口県医療ソーシャルワーカー協会、山口県理学療法士会、山口県作業療法士会、山口県老人保健施設協議会、山口県老人デイ・ケア協議会、山口県訪問看護ステーション協議会、山口県国民健康保険団体連合会、山口県老人福祉施設協議会、山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会、山口県ホームヘルパー連絡協議会、山口県デイサービスセンター協議会、山口県介護福祉士会、山口県介護支援専門員協会、山口県社会福祉士会、山口県福祉用具協会、山口県宅老所・グループホーム協会、山口県社会福祉協議会

【22団体で構成】

3 後 援

山口県、山口県市長会、山口県町村会

4 日 時

平成24年12月9日（日）午前10時から午後3時35分まで

5 会 場

山口県総合保健会館

〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1-1 TEL 083-934-2200 FAX 083-934-2209

* 全 体 会 : 山口県総合保健会館2階「多目的ホール」
: 山口県総合保健会館2階「第1研修室」

* 研 究 発 表 : 山口県総合保健会館2階「多目的ホール」
: 山口県総合保健会館2階「第1研修室」
: 山口県医師会(山口県総合保健会館6階)「会議室」

※ 研究発表会場は、会場ごとの申込み人数により決定いたしますので、当日の資料で確認してください。

6 参加者

800人【ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。】

7 内 容・日 程

9:00	受 付
10:00	開 会
10:15	基調講演 「地域包括ケアの実現に向けた介護政策の課題」 ～地域での連携・協議をすすめるために～ 講師：厚生労働省 老健局介護保険計画課 課長 度山 徹氏
12:00	昼食・休憩
13:00	研究発表 (1題；発表15分+質疑・助言5分×5題～6題 +休憩15分+まとめ15分)
15:35	閉 会

付帯行事

福祉用具の展示(協力：山口県福祉用具協会)

8 研究発表プログラム

○ 第1会場「利用者の生活の維持・向上をめざした取組について」

【助言者】 新見公立短期大学 地域福祉学科 教授 久保田トミ子 氏

【司会】 山口県介護支援専門員協会 会長 佐々木啓太 氏

研究タイトル・発表概要	発表団体・発表者等
<p>認知症介護におけるタクティールケアの効果 ～「触れる手」がもたらす安心感～</p> <p>認知症高齢者に対し、BPSD緩和を目的に導入したタクティールケアの効果、実践を交えて報告する。</p>	<p>山口県デイサービスセンター協議会 特定医療法人 茜会 認知症デイサービス5グループ ○介護福祉士 周藤かおり 臨床心理士 前田夏子 看護師 谷藤映江 他</p>
<p>認知症高齢者のその人らしい生活を支えるための取組み ～センター方式を利用して～</p> <p>センター方式を用いて認知症高齢者の情報共有を図り、適切なニーズ把握から直接的ケアを導きだした事例。</p>	<p>(株) ケア・リンク 住宅型有料老人ホーム はびね防府 ○高橋智子、今川幸子、兼重佐奈枝、 上野正行、井上八千代、斉藤幸恵</p>
<p>平成24年度 法改定による事業所の影響</p> <p>介護保険法改定・報酬改定によるサービスの変更は事業所にどのような変化をもたらすのか？</p>	<p>山口県ホームヘルパー連絡協議会 (調査研究部会) 出戸端真由美、原田真澄、福原恵美子、 入江幸子、岡村京子、○岡本淳子、 國近幸子、庄司栄子、多川恵子</p>
<p>園芸が情緒不安を持つ利用者にもたらす効果 ～精神機能の安定に向けて～</p> <p>情緒不安と不眠を伴う利用者が、園芸と関わっていく中で症状がどのように変わっていったのか検証する。</p>	<p>介護老人保健施設 グリーンヒル美祢 ○介護福祉士 阿部浩二</p>
<p>在宅復帰支援における介護福祉士の役割 ～排泄自立支援を通して学んだこと～</p> <p>在宅復帰を目指す利用者との排泄の自立に向けての取り組みと、家族との関わりから学んだこと。</p>	<p>介護老人保健施設 グリーンヒル美祢 ○介護福祉士 中嶋美希</p>
<p>足浴により体内リズムの改善を目指して</p> <p>不穏があり、夜間浅眠気味である方に足浴を行なう事で、どのような変化がみられるか取り組んだ。</p>	<p>山口県老人保健施設協議会 介護老人保健施設 しまだ川苑 認知症専門棟 看護主任 阿部加都子 介護職員 佐貫宗也、○泉巴里真、 宮本仁史、梅岡英樹、松本哲也</p>

○第2会場 「口腔機能向上のための取組について」
「他職種との連携・協働による利用者支援について」
「利用者の生活の維持・向上をめざした取組について」

【助言者】 山口大学大学院 医学系研究科 講師 草地仁史 氏

【司 会】 山口県理学療法士会 副会長 杉山英樹 氏

研究タイトル・発表概要	発表団体・発表者等
<p>山口県在宅歯科保健医療連携室の開設とその取り組み</p> <p>在宅歯科医療の一層の推進と普及啓発及び医科、介護との連携に向けた山口県歯科医師会の取り組み。</p>	<p>(社) 山口県歯科医師会 口腔保健センター委員会 介護保険部会 ○脇田雅人、山野涉、武居良裕、 藤井今日子、表川実哉、前川光太郎、 梶井泰樹、西村和美、葛山司</p>
<p>下松市介護予防事業 おたっしゃ倶楽部「お口の健康教室」を実施して</p> <p>教室利用者の参加前・参加後の意識変化をアンケート調査し介護予防の成果を得たので報告する。</p>	<p>山口県歯科衛生士会 歯科衛生士 ○国本菊枝、佐伯博子、佐伯美和子、 河野好美、間庭ユミ、高橋育美、 患良賀子、赤尾知美、桜井由美、 富田敬子</p>
<p>薬局による在宅服薬支援の現状・問題点・改善案</p> <p>アンケート調査から知り得た薬局による在宅服薬支援の現状と問題点から、今後の連携のポイントを考える。</p>	<p>山口県薬剤師会 在宅医療委員会 石上初子、其原洋子、○戸田康紀、渡邊宗男</p>
<p>利用者を中心に置いたケアの効果 ～薬に頼るのをやめ、自分らしさを取り戻した事例から～</p> <p>利用者を中心に置き家族と多職種が連携して協働することにより利用者のADLが向上し精神的に安定した事例。</p>	<p>山口県介護福祉士会 ○介護職 濱田のり子</p>
<p>慢性便秘の方の水溶性食物繊維投与による便通改善の検討</p> <p>慢性便秘の方を対象に水溶性食物繊維を投与。自然排便を促す効果はみられなかったが便性の改善がみられた。</p>	<p>公益社団法人 山口県栄養士会 介護老人保健施設 ふくしの里 ○山崎彰枝、林恵子、金子弘子、江川真美</p>
<p>自主歩行練習定着のための取り組み</p> <p>歩行自立レベルの通所リハ利用者が、自主的に歩行練習に取り組むために支援した。</p>	<p>老人保健施設 はくあい ○理学療法士 岡崎浩之、川口勤正、河口真理子 作業療法士 中村博子、柳井勇樹</p>

○第3会場 「職員の資質向上、スキルアップをめざした取組について」
「利用者の生活の維持・向上をめざした取組について」

【助言者】 山口県立大学 社会福祉学部 教授 草平武志 氏

【司 会】 山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員会副委員長 牧嶋孝生 氏

研究タイトル・発表概要	発表団体・発表者等
<p>人材（財）の定着を目指した新人教育の取り組み</p> <p>次世代を担う新たな一歩を踏み出す新人職員を、不安や迷いのない様に導き、育成に向けた取り組み。</p>	<p>山口県老人保健施設協議会 介護老人保健施設 サンライズ21 看護主任 前田真由美 ○介護教育主任 石村佐枝子 介護福祉士 三上教証、金子愛</p>
<p>介護老人保健施設に従事するOTの悩み調査</p> <p>老人保健施設に従事する新人OTにアンケート調査を実施。抱える悩みに関して分析し結果を報告する。</p>	<p>山口県作業療法士会 ○永富恵子、小川邦夫、崎田知弘、島本周治</p>
<p>M氏の頻尿と不安感情の関連性を推察する</p> <p>患者の個別性と「認知症患者への基本的態度」を意識して向き合うケアの展開で、患者に見られた変化。</p>	<p>一般社団法人 山口県介護福祉士会 医療法人 和同会 宇部西リハビリテーション病院 介護福祉士 ○野口久美子、鷲崎めぐ 介護職員 上田健治、寺尾紀子</p>
<p>職員の資質の向上、定着に向けて</p> <p>人材不足の問題にどう対処するかを考え新人教育の指導体制を見直し人材を育成する為の取り組みを行った。</p>	<p>山口県老人福祉施設協議会 特別養護老人ホーム よしき悠々苑 ○介護主任 間田洋子 ケアハウス相談員 梶原忠臣 介護職員 奥本洋子、原田和泉、 増原大裕、加藤久美子</p>
<p>その人らしい生き方を尊重するために</p> <p>困難事例を通して、介護保険の意義と医療ソーシャルワーカーの役割を考える。</p>	<p>山口県医療ソーシャルワーカー協会 ○光風園病院 岡野大介 下関市立豊浦病院 日野隆 済生会下関総合病院 森脇千夏 済生会下関総合病院 吉屋裕美 下関リハビリテーション病院 中野文平 下関リハビリテーション病院 山本愛美 王司病院 大重智恵</p>

9 参加費

2,000円 【大会当日、受付にて徴収させていただきます。】

10 参加申込方法

「平成24年度 山口県介護保険研究大会参加申込書」に必要事項を記入し、下記へFAXまたは郵送でお申込みください。 【電話での申込みはお控えください。】

11 申込締切日

平成24年11月22日（木）必着

【ただし、定員になりしだい締め切らせていただきます。】

12 留意事項

- * 昼食については、会場で「かとうの赤い羽根弁当」（お茶付・税込み600円）を斡旋いたしますので、必要な方は、大会当日に食券を購入してください。【参加費に昼食代は含めていません。】なお、赤い羽根弁当は1個について10円が赤い羽根共同募金に寄附されます。
- * 研究発表会場の座席数には限りがありますので、発表時間により立見となることもあります。
- * 会館敷地内の駐車場につきましては、関係者専用とさせていただきます。来場者の方は下記地図の専用駐車場および臨時駐車場等を利用してください。（当日は、国際交流協会グラウンドも臨時駐車場として利用できます。）
- * 駐車場のスペースに限りがありますので、参加にあたっては、自動車の相乗りや公共交通機関を利用されるなど、協力をお願いいたします。また、駐車場では、係員の指示に従ってください。

13 申込み・問い合わせ先

山口県介護保険関係団体連絡協議会

〒753-0072 山口市大手町9-6（山口県社会福祉協議会 地域福祉部 内）

TEL(083)924-2828 FAX(083)924-2847

e-mail kaidankyo@yg-you-i-net.or.jp

URL <http://yg-kaidankyo.jp/>

【会場周辺地図】

